

礼拝メッセージ (8月19日)

『心の豊かさ』～あなたの目線は?～

【伝道者 5:10～20, I コリント 1:3～7】

「目線」は人に向けられるものでもあるし、また自分の人生がどこを歩んでいるのか?という内面的なものにも向けることができます。私達クリスチャンは神様から様々なメッセージを聞き、そしてビジョンを与えられて今を歩んでいます。その歩みを確かなものにしていく為に、どこに目線を置かなければならないかを知っておく、また心の中に心構えとしてその事を持っておく事がとても大切です。例えば「あなたが幸せを感じるのは金銀財宝と心の豊かさどちらか?」と聞かれると大多数の人は心の豊かさだと言うでしょう。しかし実際に目の前に金銀財宝を詰められたら…。私達はそれでも迷いなく心の豊かさだと言い切る事ができるでしょうか?私達はついつい目に見える、すぐに手に入る方を選んでしまう、簡単な方に流れてしまう弱さがあります。将来の目標はと聞かれ家を建てる事、お金持ちになる事、好きなブランドをたくさん集める事、出世する事……。そのような答えを良く耳にしますがこれらの目に見えるものは結果にすぎません。目標ではないのです。そして最初の志と目標に向かうプロセスが結果を出すのです。ですから最初とプロセスが悪ければ悪い結果になるでしょうし、素晴らしければ結果良いものが与えられるのです。この世で神様を知らない人でさえ同じ結果が出ています。堀江モンに始まりミートホープ・白い恋人……。自分たちの私利私欲に目線が向いていた人たちの結果はひどい物でした。神様を知っている私達ならおさらなのではないでしょうか。私達の目線がどこにあるかで人生は大きく変わります。ルカ 12:15～27の中で「明日の心配はするな」と語られています。私達は人や物に目線を向けなくても神の国とその義を第一に求めれば、必要は全て満たされると約束されているのです。神様の計画は私達を通して周りの人が幸せになる事です。しかし、周りの人の幸せの為に自分の人生を歩む事もできません、それが目標でもありません。私達が何かをする事で結果周りの人が幸せになるのですから。私達が願う、目で見える豊かさも見えない豊かさも、目線さえ整えていけば、自然とついてくるものなのです。私達の目線を確かなものにする為に①目線を変える (I コリント 9:8～12) 蒔く人には蒔く種をも与えて下さるのが神様です。自分が生きながらえる為に蒔くのではなく神様が喜ばれる良いわざに蒔く事ができれば、その結果私達はあらゆる点で豊になるのです。②満ち足りるスベを身につける。(ピリピ 4:11～13)どんな状況の中でも満ち足りる事、これがあらゆる境遇に対処する秘訣です。今日の前にあるあなたにとって良い結果も悪い結果も一時のことにすぎません。その結果にとらわれると目線がズれてしまいます。ですからどんな状況でも満ち足りる事が大切なのです。③火で洗練する。(黙示 3:17～18)金は火で洗練される事で純度を増して行きます。私達にとってチャレンジの時、それは私達がクリスチャンとして洗練されてより純度の高い金になるチャンスなのです。洗練される時、目線がズれてはチャンスを掴む事ができません。ですから、白い衣(イエス様)を着、はっきり見える目薬をさす必要があるのです。私達の目線はついつい自分の為だけに向いてしまいがちです。しかしこのポイントを忘れずに心に留めて置く事で、見るべき所に目を向ける事ができます。そして、自分がその時すべき事が見えてくるのではないのでしょうか。皆さんが自分の自己満足の豊かさではなく神様の前に豊かでいられるように心から願います。